

桐生市立図書館の 所蔵資料から

第1回

初三郎の描いた桐生

皆さんは、図書館といえは本を借りたり、新聞・雑誌を読んだり、勉強をしたりする場所をイメージされるのではないのでしょうか。図書館には、桐生の豊かな歴史や文化をしるのばせる資料が所蔵されています。

皆さんは、図書館といえは本を借りたり、新聞・雑誌を読んだり、勉強をしたりする場所をイメージされるのではないのでしょうか。図書館には、桐生の豊かな歴史や文化をしるのばせる資料が所蔵されています。

第1回は「桐生市鳥瞰図」です。奥に吾妻山、手前には良瀬川、中央には桐生のまち並みが描かれています。これは昭和9年10月に桐生市が発行したのですが、この絵図作成を請け負ったのは京都祇園を拠点に活動した絵師、吉田初三郎です。この時すでに多くの鳥瞰図を手掛け、「大正の北斎」の名で世に名を知られる人物でした。初三郎の描く鳥瞰図は人気を博し、日本各地の自治体や鉄道会社から多数の依頼を受け、全国各地の鳥瞰図を手掛けました。



桐生市鳥瞰図(部分)

この絵図には、旧市役所や桐生が岡公園、旧新川グラウンドといったおなじみの施設

が描かれています。そして裏面には、桐生の町紹介や市内織物産業の概要、さらには名所旧跡や桐生首頭の紹介といった、ガイドブック的な記述が続きますが、特筆すべきは、初三郎が肌で感じた桐生とでもいえるべき「絵に添えて一筆」の一文です。

初三郎は鳥瞰図の作成に当たっては、実際に現地に入り自らの目で調査写真を行いました。彼は桐生の町の印象を次のように記しています。

「桐生は京の西陣よりも、遙かに輝やく前途を約束され、気魄に於て地勢に於て近き将来、必らず東洋第一の織都たるべき運命を持つてゐる。……西陣など何のその。時代は正に黎明桐生の天下であろう。……その燦然とした織都から今回ゆくりなき懇囑を拝して本図を完成した事をどんなに嬉しく思つか。 (抜粋)」

初三郎の筆を通じて、往時の桐生の賑わいや雑踏までもが聞こえてくるようです。

問い合わせは、図書館(☎474341)へ。

▼「桐生市鳥瞰図」展示

期間 6月1日(木)～18日

(日)、28日(水)～30日

(金) ※月曜日休館

場所 図書館1階

今月の表紙

妊娠期から子育て期までの間、切れ目ない支援で「子育て日本一」を目指します。写真は、保健福祉会館での支援事業の様子です。子育てサロンでは親子でどろだんごを作って遊び、ママ&パパ教室では「パパの妊婦体験」など、夫婦で妊娠・出産について学びました。

人口と世帯

(4月30日現在)

人口	114,700人 (-143人)
男	55,260人 (-69人)
女	59,440人 (-74人)
世帯	49,991世帯 (+33世帯)

()内は前月比

今月の納税

市民税・県民税…第1期

6月30日(金)が納期限です

コンビニエンスストアや銀行などのペイジー対応ATMからも納付可能です。口座振替を利用している人は、預貯金残高の御確認をお願いします。

広告